

令和4年12月22日



担当課	文化振興課
担当者	辻・岡野
電話	(073) 435-1194
内線	3030

## 令和4年度 和歌山市文化表彰について

令和4年度和歌山市文化表彰の受賞者が決まりましたので、お知らせします。

### 1 趣旨

本市文化の向上発展に特に顕著な功績のある個人又は団体に対し表彰を行います。

- (1) 文化賞 文化の向上発展に特に顕著な業績を残したと認められる者
- (2) 文化功労賞 文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である者
- (3) 文化奨励賞 すぐれた文化の創造又は普及活動を続け、市民の文化向上に寄与している者

### 2 受賞者 (50音順・敬称略)

和歌山市文化表彰選考委員会での選考を経て、別紙のとおり各賞の受賞者を決定しました。

- (1) 文化賞 こやま よしき 小山 譽城 (歴史学者)
- (2) 文化功労賞 ありよし たまお 有吉 玉青 (作家)
- (3) 文化奨励賞 おかざき ゆみこ 岡崎 由美子 (洋画家)
- (3) 文化奨励賞 きのした ゆういち ほてつ 木ノ下 裕一 (補綴家：台本の作成・編集者)  
(ドラマトウルク：ドラマの作り手)
- わかやまふらめん こきょうかい 和歌山フラメンコ協会 (洋舞)

### 3 表彰式

日時 令和4年12月27日 (火) 14時から  
場所 和歌山城ホール 4階大会議室  
(和歌山市七番丁 25 番地の1 TEL : 073-432-1212)

### 4 賞

表彰状、きしょう 徽章 (団体には楯) 及び副賞をお贈りします。

### 5 沿革

昭和57年度から実施しており、本年度で41回目を迎えます。

## 令和4年度 和歌山市文化表彰について

## 文化賞（1名）

氏名	分野	業績の概要
こやま しょうき 小山 馨城	歴史学者	大学在学中より徳川御三家の付家老の研究を続け、平成18年に『徳川御三家付家老の研究』を刊行。平成19年には國學院大學から歴史学博士の学位が授与された。平成23年には『徳川将軍家と紀伊徳川家』を刊行し、研究と並行して、和歌山県の古文書調査員、自治体史の編纂委員等を務める。令和2年に和歌山県文化功労賞を受賞している。 独自の視点から付家老の研究に切り込み、研究成果を書籍や講演等で広く人々に伝えてきた永年の活動は意義深く、歴史学の発展に大きく貢献した。
	生年	
	昭和25年	
	現住所(出身地)	
	和歌山市(御坊市)	

## 文化功労賞（2名）

氏名	分野	業績の概要
ありよし たまお 有吉 玉青	作家	東京大学大学院在学中の平成元年に『身がわり一母・有吉佐和子との日々』を出版し、翌年、第5回坪田譲治文学賞を受賞。小説やエッセイを多数出版するほか、日本舞踊劇台本、長唄の作詞も手がける。現在、大阪芸術大学の教授を務め、文学創作の教鞭をとっている。 本市関連では、平成26年の「有吉佐和子没後30年特別展」にパネリストとして参加。平成17年の有吉佐和子文庫（和歌山市民図書館）開設、平成27年のわかやま歴史館開館、本年の有吉佐和子記念館開館において、多くの有吉佐和子氏遺品の寄贈等、本市の文化振興や観光事業の向上発展のため尽力している。
	生年	
	昭和38年	
	現住所(出身地)	
	東京都	
氏名	分野	業績の概要
おかざき ゆみこ 岡崎 由美子	洋画家	和歌山市立小・中・高等学校で美術科教員を務め、退職後は和歌山信愛女子短期大学等で幼児造形教育に携わる。この間、現代美術家として平成11年の現代日本美術展準大賞、昭和63年、平成2年の日本国際美術展佳作賞などの受賞歴をもち高い評価を得ている。自身でも関西を中心に国内外で個展、グループ展など多数開催してきた。 このように、幅広い年代の美術科教員として長きにわたる指導経験をもつほか、地域文化活動にも積極的に貢献し、多くの生涯学習関連イベントにおいて講師を務めてきた。その他にも、和歌山県美術展覧会洋画部門の審査員に選出される等、地域の文化芸術の振興や育成に尽力している。
	生年	
	昭和19年	
	現住所(出身地)	
	和歌山市	

## 文化奨励賞（1名1団体）

氏名	分野	業績の概要
きのした ゆういち 木ノ下 裕一	補綴家 ドラマトゥルク	平成18年に歌舞伎演目上演の補綴・監修を自らが行う「木ノ下歌舞伎」を旗揚げ、歴史的な文脈を踏まえつつ、コンテンポラリーダンスやラップを取り入れるなど、歌舞伎演目を“現代の演劇”として上演している。代表作は『黒塚』『東海道四谷怪談-通し上演-』『三人吉三』など。令和4年には瀬戸内国際芸術祭2022にて公演。 また、平成30年に渋谷・コクーン歌舞伎『切られの与三』などの補綴、令和4年に東京及び大阪で上演する「能 狂言『鬼滅の刃』」の原案台本作成も担当している。 古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたり活動中で、伝統芸能のファン層を拡大している。 ※補綴：台本の作成・編集 ※ドラマトゥルク：ドラマの作り手
	生年	
	昭和60年	
	現住所(出身地)	
	京都市(和歌山市)	
団体名	分野	業績の概要
わかやま ふらめんこ 和歌山 フラメンコ 協会	洋舞	毎年「フラメンコの祭典 in ポルトヨーロッパ」を開催し、フラメンコの魅力を多くの和歌山市民に伝えている。また、紀州おどり「ぶんだら節」にも参加し「ぶんだら技あり賞」や「ぶんだら華やか賞」などを計4度受賞している。 平成28年の「侍フラメンコ〜吉宗〜」、平成30年の「伝説フラメンコ舞舞台〜住蛇が池〜」、令和3年の「もののけの森のマリア」などは、フラメンコに和楽器、和歌山の偉人や伝説を結び付けて馴染みやすくした。フラメンコで表現する舞台は芸術性も高く、本市の文化生活の向上と発展とともに地域の伝統文化の継承にも寄与している。
	創立	
	平成13年	
	所在地	
	和歌山市	

【令和4年度和歌山市文化表彰受賞者】

【文化賞】

歴史学者 小山 譽城



【文化功労賞】

作家 有吉 玉青



©織田桂子

【文化功労賞】

洋画家 岡崎 由美子



【文化奨励賞】  
補綴家・ドラマトゥルク  
木ノ下 裕一



©東直子

【文化奨励賞団体】  
洋舞 和歌山フラメンコ協会

